

海から天にかける美しい島づくり



総務省は地方独自のプログラムを自ら考え、前向きに取り組む地方公共団体に対し、地方交付税等の支援措置を講じる「頑張る地方応援プログラム」を平成19年度からスタートさせます。

本町においても独自の「海から天にかける美しい島づくり」プロジェクトを策定し、魅力あるまちづくりや町の活性化のために応募しますので、その内容を公表します。

目的・概要
長島町は県の最北西部に位置し四方を海に囲まれた風光明媚な島です。北に長崎県、熊本県天草を控え3県架橋構想も具現化しようとしています。本町は、海と夕陽と緑の豊かな自然が最大の魅力であり、産業資源・観光資源でもあります。これを護るとともに

に育て、活用していくことが最大の課題です。平成19年3月31日、景観行政団体になったのと平行して景観条例を公布し、本格的に全町的な景観づくりに着手しました。メイン事業として長島の玄関口である黒之瀬戸大橋周辺の公園、展望所、観光の発信地となる物産館、駐車場の整備をするとともに、島内一周道路の路傍に町花の水仙等を植栽し、造形美術展の造形展示施設整備、展示場の石積み公園整備、日本一の養殖ブリを生かしたサミットなど町の活性化とイメージアップを図り、都市と農漁村の交流人口、観光客等の倍増を目指します。

具体的な成果目標

平成18年度の観光客の入込み数は、公園関係が438、700人、海水浴場が15、200人、計453、900人となっています。本事業の

3年後は2倍の900、000人の入込みを目指します。交流人口は造形美術展が70、000人、ブリサミットが500人、定住人口がU・Iターン5組10人を目指します。

プロジェクトの期間

平成19年度を初年度として3年間

政策分野の分類

観光振興・交流プロジェクト

事業・施策

長島アートギャラリー

2年に1回開催している「造形美術展」は平成8年に日本イベント大賞を受賞した、住民総参加の本町の一大イベントです。現状ではほとんど廃棄されている作品を展示・保存する施設の整備や造形美術展の展示会場を石積みによる公園として整備するなど新たな観光資源とします。事業費 3、000万円

黒之瀬戸うずしお公園整備

町の玄関口として、観光の発信地となる案内所と併設の長島の特産品を販売する物産館、その周辺整備を町内でなじみの深い石積み、町花の水仙、町木の椿等の素材や造形美術展の作品展示等特色のある公園を整備します。事業費 2、000万円

ぐるっとフラワーロード

本町は周囲40キロの一周道路が幹線道路となっています。路傍には数年前から地域住民による水仙の植栽が行われ、春には水仙ウォークも行われています。途中には景勝地、史跡、段々畑など人文景観も多く、この一周道路に四季を通じて楽しめる水仙、彼岸花、さつきなどを住民参加により植栽し、美しい道路に整備します。事業費 3、000万円

かえっておいでよ60歳

平成19年度は1、000万円 スローライフ（田舎暮らし）を希望する団塊の世代や

若者を対象に、島内の空家を整備し提供します。町が所有者から買い上げ、トイレ、台所等を改修して賃貸住宅として整備します。賃貸とすることで短期的な田舎暮らしを体験してもらうことも可能となります。希望者には農地も斡旋します。定住を希望する場合は、5年経過後に入居者が買い取れるようにします。事業費 3、000万円

世界ブリサミット

「これからのブリ養殖」と題し、国内の主要生産地の代表者を集めた会議を開催します。サミットの主催地として、東町漁協の取り組みを発表し、話題提供とします。イベントの中で、ぶりの食べ方を研究（料理コンテスト）することにより、特産品開発や消費拡大につながるものを見つめます。姉妹盟約をしている韓国吉祥面、鹿児島大学の留学生などと魚食文化についての交流会を開催し、長島町の国際化（交流）を図ります。事業費 500万円